

訓子府新報

発行所
訓子府新報社
電話 (0157) 47-4745
発行日
毎週水曜日

「銀河の道」の朝市 安全安心の農産品

旧訓子府駅ホームで開催

子どもや高齢者、地域との交流を通し食の安心、安全を進める、有限責任事業組合「銀河の路」(及川秀治代表)は十一日、旧ふるさと銀河線訓子府駅プラットホームで朝市を開催した。

町内で栽培しているタマ平飼い養鶏の卵などがホーネギやジャガイモ、カボチャ、ム狹しと並び、無農薬や有機ボウのほか、町内で採取した天然のハチミツ、オホーワりの野菜が瞬く間に完売した。自然の中で育ったうどん、今回の朝市開催は、ふる

さと銀河線沿線応援ツアーで訓子府を訪れた観光客三十人に地産地消を実践する「銀河の路」が朝食の提供をきっかけに開催したもの。観光客や町民は、新鮮で安全な野菜を手に取り、熱心に栽培方法を聞き、買い

品。食材の中で、バターロールの小麦粉も訓子府産の春まき小麦からつくったもの

求めている。

銀河線ツアーの観光客

ぜいたくな朝食並ぶ

有限責任事業組合「銀河の路」で、もっちりとした食感との路は、訓子府産の野菜小麦粉の甘い香りが食を進めつつあった。朝食会場の会場となった旧訓子府駅には、三十人の観光客が訓子府でしか食べられない食事に舌鼓を打った。首都圏から訪れた女性はこの日の朝市で、地元産の食材を使った朝食を堪能した。

「銀河の路」は、農業者、消費者ら六人で昨年八月に設立、地産地消を通じ、人の交流、元氣なまちづくりをめざしている。今回の朝食提供には、町内の「ビストロ訓子府」でお馴染みの西山孝正さんを中心に、会員が栽培している野菜で「蒸しキャベツと根菜のマリネ」「ポテトの温サラダバルサミソース」「カボチャのガリッククバター」「ダシ巻きたまご」「バターロール」など十二品。

代表の及川さんは「皆さんに喜んでもらえて良かったです。今後もこうした機会をつくっていききたい」と話した。



安心・安全な野菜を販売した銀河の路のメンバー



訓子府産の食材を使った朝食に舌鼓を打ったツアーたち